施設名称	老人いこいの家寿山荘	評価対象年度	平成 26 年度
指定管理者名	株式会社 共立メンテナンス	所管課	介護高齢課
指定期間	平成24年4月1日~平成27年3月31日(3年)	評価者(課長)	冨樫 孝平

## 事業実績

利用実績	延べ利用人数 0人 (代替施設利用者延べ人数3,562人)
サービス向上の取り組み	代替施設との連携と適切な運行管理

## 管理経費

	区分	前々年度 (24年度)	前年度 (25年度)	当該年度 (26年度)	合計	備考
	指定管理料	6,515	6,517	6,504	19,536	指定期間における指定管理料の総額:19,536,000円
収	利用料金	994	9		1,003	
八	自主事業収入					
	その他	32			32	自動販売機設置手数料
	計	7,541	6,526	6,504	20,571	
	管理経費	6,710	6,011	4,595	17,316	
	(うち人件費)	3,391	3,603	2,882	9,876	
	(うち光熱水費)	1,753	1,311	795		ガス、電気、水道、燃料
支出	(うち修繕費)	834	164	157		総湯管ストーブ等
出	(うち委託料)	485	553	54	1,092	委託料、リース料
	(うちその他)	247	380	706	1,333	保険、消耗品、電話料金、温泉使用料等
	自主事業費		·			
	計	6,710	6,011	4,595	17,316	
	差引	831	515	1,909	3,255	

評価					
分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営其	基本方針の理解・ 周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか 利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか	10	4	8.0
基本方	(評価理由) 代替施設への運	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	適切なサービスの	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に 提供されたか			
	提供	サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか	10	4	8.0
-11		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
サ       	業務改善による サービス向上 利用者の意見・要望への対応 自主事業の実施 状況	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明 に必要な取り組みがなされているか	10	4	
ス		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか	10		
向上及び業務改善		利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映してさせているか	8	4	6.4
務		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応して いるか			
善善		利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか 利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか	4	4	3.2
		ない中で、あかまつ荘・荒川いこいの家の代替施設への送迎対所 まち帰り用)や、利用者の要望を取り入れ、サービスの向上に努め ・努めている。			
	****	計画に基づく適正な支出が行われているか			
	効果的・効率的な	支出に見合う効果は得られているか	10	4	8.0
収	支出	経費縮減の具体的な取り組みはされているか			
支		収入金を区分し、適切に管理を行っているか			
支計画	適切な会計管理・ 手続き	指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか	8	5	8.0
実績	(評価理由) 施設運営経費の	削減において、職員の努力が伺える。			

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点			
	適切な人員配置	必要な人員(人数·有資格者等)が必要な場所に適切に配置 されているか	4	4	3.2			
	連絡·連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十 分に図られているか	4	5	4.0			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行に ついても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2			
組織	担当者のスキル アップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2			
管理体制	安心·安全への取 り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な 安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2			
制	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2			
		(評価理由) あかまつ荘や荒川いこいの家で実施する安全運転研修・接遇研修・防災訓練・AED・救急救命講習会・個人情報保護研修 等に参加し職員のスキルアップを行っており、適切な運営を行っていると認めます。						
	施設・設備の保守 管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守 点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4			
適正な	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪 等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2			
な業務実	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が 適切に行われているか	4	4	3.2			
海施		1-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10-10						

評値	西点合計	82.4	評価ランク	А
----	------	------	-------	---

# 管理運営に対する全体的な評価

限られた予算の中で、経営に節減を心がける努力が見られ、救急救命講習などを実施するなど安全意識も向上してきている。当施設で入浴ができない状態の中で、関係施設と連携を図り、適正かつ効率的に運営していることが認められます。

# 次年度の管理運営に対する指導事項等

- 記入要領
  ・「評価段階」は5段階(5~1)により評価を行うこと。
  ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

施設名称	高齢者生活福祉センターふれあい羽衣	評価対象年度	平成 26 年度
指定管理者名	社会福祉法人 村上岩船福祉会 理事長 齋藤 勉	所管課	介護高齢課
指定期間	平成24年4月1日~平成29年3月31日(5年)	評価者(課長)	冨樫孝平

### 事業実績

利用実績	平成26年度当初入居者数 11名、途中入退所 入所5名、退所4名、年度末入居者数 12名
サービス向上の取り組み	定期的に趣味の助長や季節に応じた行事を計画する。

## 管理経費

	<b>自</b> 注社員					
	区分	前々年度 (H24年度)	前年度 (H25年度)	当該年度 (H26年度)	合計	備考
	+K	, ,			04.405.000	
	指定管理料	8,030,000	8,058,000	8,317,000		指定期間における指定管理料の総額:41,041,000円
収	利用料金	2,139,000	2,030,700	1,656,400	5,826,100	
入	自主事業収入					
	その他	12,000	373	370	12,743	預金利息
	計	10,181,000	10,089,073	9,973,770	30,243,843	
	管理経費	10,181,000	10,089,073	9,973,770	30,243,843	
	(うち人件費)	5,310,000	5,008,000	5,070,000	15,388,000	
	(うち光熱水費)	2,097,000	2,156,000	2,062,000		電気、ガス、上下水道料金
支出	(うち修繕費)	200,000	346,000	211,699	757,699	建物等修繕費
出	(うち委託料)	1,911,000	1,791,000	1,819,000		宿直·清掃·消防設備点検等
	(うちその他)	663,000	788,073	811,071	2,262,144	福利厚生·通信費他
	自主事業費					
	計	10,181,000	10,089,073	9,973,770	30,243,843	
差引						

#### 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか 利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか	10	4	8.0
I基本方針	(評価理由) 隣接する特別養	護老人ホームや関係機関との連携を図り、良好に運営を行ってい	13.		
	適切なサービスの 提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に 提供されたか サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされている	10	4	8.0
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
<del>サ</del>	業務改善による	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明 に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
ビス	サービス向上	業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討 と実施が行われ、効果が表れているか	討 10 4	7	0.0
向	利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映してさせているか	8	4	6.4
び業	三 へのみが	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
上及び業務改善		利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか 利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか	4	4	3.2

# (評価理由)

るくの催しを実施しながら、生きがいや楽しみづくりへの努力が伺え、適宜、ボランティアの慰問や地域行事への参加により活発な活動が認められる。入居者のコミュニケーションの場づくりに努めており、集会所で過ごす時間が多くなって自室に閉じこもることもなく、生活指導員を中心として入所者同士の繋がりを作りやすくしている。また、職員の情報共有がトラブルの防止につながっている。

積極的な営業を行う施設ではないため、自主事業は行いにくい施設であるが、行事や催しを数多く開催しており、入居者に 対して良好な環境を提供している。

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点			
ЧΖ	効果的・効率的な 支出	計画に基づく適正な支出が行われているか 支出に見合う効果は得られているか 経費縮減の具体的な取り組みはされているか	10	4	8.0			
支計画・	適切な会計管理・ 手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか 指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされ ているか	8	5	8.0			
· 実 績	(評価理由) 施設運営経費の	削減において、職員の努力が伺える。						
	適切な人員配置	必要な人員(人数·有資格者等)が必要な場所に適切に配置 されているか	4	4	3.2			
	連絡·連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十 分に図られているか	4	4	3.2			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行に ついても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2			
組織	担当者のスキル アップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期 的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2			
組織管理体制	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な 安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2			
制	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2			
	特別養護老人ホ	察や行動の把握を堅実に実施し、事故防止に努めている。 ームとの連携により、効率的な運営を行っている。 うなど意識向上に努めている。						
	施設・設備の保守 管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守 点検や整備等を適切に実施しているか	8	5	8.0			
適 正	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2			
な業務実施	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が 適切に行われているか	4	4	3.2			
実施	(評価理由) 災害訓練や消防設備点検を頻繁に行い、防災意識が高い。浴室や居室の水回りの老朽化が目立つようになってきているが、適切な修繕を行い利用者の安全を確保している。							

評価点合計	83.2	評価ランク	А
計画出口司	03.2	計画ノング	A

## 管理運営に対する全体的な評価

入所者の高齢化により当施設での生活が難しくなっている方が増えている中で、ご家族と相談を進め特別養護老人ホームや老人保健施設等への入所対応など適切に対応されています。利用者と施設職員の良好な関係を維持し、安心確保や楽しみづくりに努力されており、経費の縮減に努めながら良好に運営していることが認められた。

# 次年度の管理運営に対する指導事項等

入所者の高齢化が進み介護要素が高くなっている中で、様々な催しを実施しながら、生きがいや楽しみづくりへの努力が伺える。入 所者に良好な環境を提供できるよう、今後も引き続き事業継続をお願いしたい。

# 記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5~1)により評価を行うこと。 ・「評<u>価点」は、配点に以下の評価</u>段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。 評価ランク区分

  - 評価ランク区分 S 95.0以上 A 80.0以上95.0未満 B 60.0以上80.0未満

  - C 60.0未満

施設名称	村上市コミュニティデイホーム	評価対象年度	平成 26 年度
指定管理者名	村上市レクリエーション協会	所管課	介護高齢課
指定期間	平成24年4月1日~平成27年3月31日(3年)	評価者(課長)	冨樫孝平

# 事業実績

利用実績	延べ利用人数 1548人	
	茶の間支援活動のための研修会に参加し、職員のレクリエーション技術の向上を図り、利用者が元気が出るような活動を展開する。	

# 管理経費

	区分	前々年度 (24年度)	前年度 (25年度)	当該年度 (26年度)	合計	備考
	指定管理料	2,706,000	2,707,000	2,700,000	8,113,000	指定期間における指定管理料の総額:8,113,000円
収	利用料金	4,500		500	5,000	
八	自主事業収入	3,000			3,000	
	その他			307	307	預金利息
	計	2,713,500	2,707,000	2,700,807	8,121,307	
	管理経費	2,601,243	2,759,663	2,554,864	7,915,770	
	(うち人件費)	1,702,000	1,931,000	1,873,000		
	(うち光熱水費)	162,429	144,033	136,243		ガス、水道、電気、灯油
支出	(うち修繕費)	156,749	159,955	18,569		消火器、カーテンレール
出	(うち委託料)	252,000	252,000	259,200	763,200	施設警備
	(うちその他)	328,065	272,675	267,852	868,592	消耗品、切手はがき、電話、消費税、印紙
	自主事業費	3,000	6,000		9,000	
	計	2,604,243	2,765,663	2,554,864	7,924,770	
	差引	109,257	58,663	145,943	196,537	

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点		
管理運針営	基本方針の理解・ 周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか 利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか	10	4	8.0		
基本方	(評価理由) 施設の維持管理を適正に行い、良好に運営を行っている。						
	適切なサービスの 提供	サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか	10	4	8.0		
サー ビス向	業務改善によるサービス向上	利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか 事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明 に必要な取り組みがなされているか 業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討 と実施が行われ、効果が表れているか	10	4	8.0		
ス向上及び業務改善	利用者の意見·要 望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映してさせているか 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応して	8	5	8.0		
務 改 善善	状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか 利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか	4	5	4.0		
	なか、地域行事に	〈町屋巡りなどの観光中心地に位置しているが、観光施設ではな 参画し建物の特性を生かしたサービス提供を行っている。また、〕 適切に実施している。また、防犯落語を開催し、高齢者の被害り	E面土間部分	を「お休み処」。	として開放し、		
ЧZ	効果的·効率的な 支出	計画に基づく適正な支出が行われているか 支出に見合う効果は得られているか 経費縮減の具体的な取り組みはされているか	10	4	8.0		
支計画	適切な会計管理・ 手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか 指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされ ているか	8	5	8.0		
実績	(評価理由) 適切な節電・節2	・ K管理を行い、施設運営経費の削減に努めている。					

分類	項目	着眼点		評価段階	評価点			
	適切な人員配置	必要な人員(人数·有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	3	2.4			
	連絡·連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	4	3.2			
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行に ついても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2			
組織	担当者のスキル アップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期 的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	4	3.2			
織管理体制	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な 安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2			
制	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2			
	(評価理由) 隣近所との良好な関係を築き、地域での信頼を得ている。火災訓練(通報模擬訓練)や普通救急法の受講を行い、非常時の体制整備を行っており、適切な運営を行っていると認めます。 人員配置については、施設長(施設管理者)として、デイホームの業務全体の統括に専従する者を必ず置くこと。							
	施設・設備の保守 管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守 点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4			
適 正 か	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪 等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2			
な業務実	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が 適切に行われているか	4	4	3.2			
実施	(評価理由) 古民家であるため	b維持管理が難しいが、建具などの修繕・調整等、維持管理を適	証に行ってい	ると認める。				

評価点台	<u>&gt;=+</u> 02 7	評価ランク	А
------	--------------------	-------	---

## 管理運営に対する全体的な評価

利用促進のために民生委員や老人クラブ、長寿大学などへの呼びかけや、高齢者詐欺予防のために防犯講座等を開くなど、高齢者 と市民および観光客との交流の場・地域のコミュニティー拠点として、適正に維持管理していると認めます。

## 次年度の管理運営に対する指導事項等

施設長(施設管理者)として、デイホームの業務全体の統括に専従する者を必ず配置してください。平成26年度に実施した自主事業 については、利用者から好評を得ている。施設の新しい特性として事業継続し、地域に密着したサービスが提供できるよう事業企画及 び管理運営をお願いしたい。

# 記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5~1)により評価を行うこと。
  ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。 評価ランク区分

  - S 95.0以上 A 80.0以上95.0未満
  - B 60.0以上80.0未満 C 60.0未満

施設名称	神林いこいの家	評価対象年度	平成 26 年度
指定管理者名	村上市レクリエーション協会	所管課	介護高齢課
指定期間	平成24年4月1日~平成27年3月31日(3年)	評価者(課長)	冨樫孝平

# 事業実績

利用実績	延べ利用人数 2,487人
サービス向上の取り組み	利用者の要望を聞いて、備品などの更新しサービスの向上を図る。

# 管理経費

	区分	前々年度 (24年度)	前年度 (25年度)	当該年度 (26年度)	合計	備考
	指定管理料	3,780,000	3,807,000	3,810,000	11,397,000	指定期間における指定管理料の総額:11,397,000円
収	利用料金					
入	自主事業収入	1,000			1,000	
/\	その他			282	282	預金利息
	計	3,781,000	3,807,000	3,810,282	11,398,282	
	管理経費	3,552,457	3,849,292	3,820,011	11,221,760	
	(うち人件費)	1,481,140	1,600,913	1,619,750		
	(うち光熱水費)	884,622	1,001,268	958,944		ガス、水道、電気、灯油、ガソリン
支出	(うち修繕費)	116,375	108,837	120,621		非常口誘導灯、他
出	(うち委託料)	764,190	755,782	746,532	2,266,504	火災設備、AEDリース、車両リース
	(うちその他)	306,130	382,492	374,164	1,062,786	NHK受信料、消耗品、通信費、消費税、印紙
	自主事業費	3,000			3,000	
	計	3,555,457	3,849,292	3,820,011	11,224,760	
	差引	225,543	42,292	9,729	173,522	

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管 理 運 針営	基本方針の理解・ 周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか 利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか	10	4	8.0
基本方	(評価理由) 施設の維持管理	を適正に行い、良好に運営を行っている。			
	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に 提供されたか サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか 利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか	10	4	8.0
サービス	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明 に必要な取り組みがなされているか 業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討 と実施が行われ、効果が表れているか	10	4	8.0
向上及び業務改善	利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映してさせているか 利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか	8	4	6.4
改善	自主事業の実施 状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか 利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか	4	3	2.4
	(評価理由) 委託事業の生きがい活動支援通所サービスを運営する中で、施設管理側としてレクリエーション講習会に参加のスキルアップを進めている。自主事業の行いにくい施設であるが、利用者のニーズを把握して自主事業の検討たい。また、障がい者施設や小中学校の体験学習を受け入れするなど地域貢献している。利用者間の日常会認ともに、利用日を調整するなど、トラブルを未然に防止している。				
収支	効果的·効率的な 支出	計画に基づく適正な支出が行われているか 支出に見合う効果は得られているか 経費縮減の具体的な取り組みはされているか	10	4	8.0
収支計画・	適切な会計管理・ 手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか 指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされ ているか	8	5	8.0
実 (評価理由) 適切な節電・節水・冷暖房の温度管理を行い、施設運営経費の削減に努めている。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
	適切な人員配置	必要な人員(人数·有資格者等)が必要な場所に適切に配置 されているか	4	3	2.4
	連絡·連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十 分に図られているか	4	4	3.2
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行に ついても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
組織管理体	担当者のスキル アップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	5	4.0
理体	安心·安全への取 り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な 安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2
制	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	導者)の資格取得	隽により、応急手当講習や職員の緊急連絡網を整備し非常時の 者がレク協会員に対し自主研修を行うなど、適切な運営を行って ては、施設長(施設管理者)として、いこいの家の業務全体の統:	いると認めます	す。	
	施設・設備の保守 管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守 点検や整備等を適切に実施しているか	8	4	6.4
適正な業務実	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪 等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が 適切に行われているか	4	4	3.2
実施	(評価理由) トイレ、ボイラー等	学の設備の保守点検を定期的に実施し、適切に管理していると認	ぷめる。		

評価点合計	80.8	評価ランク	А
-------	------	-------	---

## 管理運営に対する全体的な評価

利用者がほぼ固定している施設であるが、公民館や社会福祉協議会などに利用促進を呼びかけしている。委託事業との連携により、 職員の自主研修により資質向上を図っている。また、利用者の要望等には迅速に対応し、適正に維持管理していると認めます。

# 次年度の管理運営に対する指導事項等

施設長(施設管理者)として、いこいの家の業務全体の統括に専従する者を必ず配置してください。村上市レクリエーション協会らしさ を現し、利用者へのサービス向上につながる自主事業の検討を行い施設運営の活性化を図り、適切なサービスの提供ができるよう、管理運営をお願いしたい。

# 記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5~1)により評価を行うこと。
  ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数
5	1.0
4	0.8
3	0.6
2	0.4
1	0.2

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。 評価ランク区分

  - S 95.0以上 A 80.0以上95.0未満
  - B 60.0以上80.0未満 C 60.0未満

施設名称		評価対象年度	平成	年度
指定管理者名		所管課		
指定期間	平成 年 月 日~平成 年 月 日(年)	評価者(課長)		

# 事業実績

利用実績	
サービス向上の取り組み	

## 管理経費

日在紅貝						
	区分	前々年度 (年度)	前年度 (年度)	当該年度 (年度)	合計	備考
	指定管理料					協定額: 円
収	利用料金					
入	自主事業収入					
	その他					
	計					
	管理経費					
	(うち人件費)					
+	(うち光熱水費)					
支出	(うち修繕費)					
ш	(うち委託料)					
	自主事業費					
	計					
	差引					

評価 分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方	基本方針の理解・ 周知 (評価理由)	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか	10		
本方針					
	適切なサービスの	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に 提供されたか			
	提供	サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか	10		
++		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
サービス向上及び業務改	業務改善による サービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明 に必要な取り組みがなされているか	10		
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
	利用者の意見·要 望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映してさせているか	8		
務	主 (0)以)(0	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
善善	自主事業の実施 状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか 利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか	4		
	(評価理由)				
	+ = + + + + + + + + + + + + + + + + + +	計画に基づく適正な支出が行われているか	10		
	効果的·効率的な 支出	支出に見合う効果は得られているか			
収	ХШ	経費縮減の具体的な取り組みはされているか			
支 計	適切な会計管理・	収入金を区分し、適切に管理を行っているか			
画	手続き	指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされ ているか	8		
実	(評価理由)	_			
績					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
	適切な人員配置	必要な人員(人数·有資格者等)が必要な場所に適切に配置 されているか	4		
	連絡·連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十 分に図られているか	4		
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行に ついても適切な監視・確認がなされているか	4		
組織	担当者のスキル アップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期 的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4		
組織管理体制	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な 安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4		
制	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4		
	(評価理由)				
	施設・設備の保守 管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守 点検や整備等を適切に実施しているか	8		
適正な業務実施	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4		
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が 適切に行われているか	4		
実施	(評価理由)				

# 管理運営に対する全体的な評価

が在時の	(公寓)(田)(本)	ーナナオーフ・	<b>指道</b> 重 百
水田區()	) <del>' -                                     </del>	. vii a 🦳	行 是 玉 I H 玉

- 記入要領
  ・「評価段階」は5段階(5~1)により評価を行うこと。
  ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数			
5	1.0			
4	0.8			
3	0.6			
2	0.4			
1	0.2			

- 【 1 【 0.2 】 ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。 評価ランク区分 S 95.0以上 A 80.0以上95.0未満 B 60.0以上80.0未満 C 60.0未満